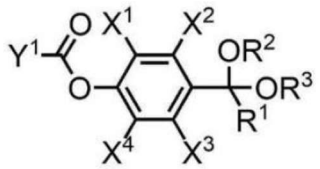
TMG-132：潜在的活性化エステル

・PCT/JP2026/008721



(I)

〔式中、R^1は水素原子、又はハロゲン原子で置換されていてもよい炭素数1～3のアルキル基を表し、R^2及びR^3はそれぞれ独立して、炭素数1～3のアルキル基を表し、X^1、X^2、X^3、及びX^4はそれぞれ独立して、ハロゲン原子又は水素原子を表し、Y^1は機能性部分と置換可能な部分を有する基を表す。〕

・概要

タンパク質やペプチドなどの物質に薬剤や放射性同位体などの機能性部分を結合するために利用できる化合物に関する発明です。

・応用

機能性物質をタンパク質やペプチドなどに結合させることによって製造する研究試薬、診断薬、治療剤などの製造に利用できます。

詳細につきましてはご遠慮なく産学連携・知的財産室(chizai@tmghig.jp)までお問い合わせください。